

- 問1 北海道、茨城県、新潟県、鹿児島県の4道県の農業産出額の内訳を比較したとき、鹿児島県の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|----------------------------------|
| 1. 米、野菜、畜産の産出額がほぼ同等であり、特定の部門に偏らない多角経営が行われている | 2. 野菜の産出額が最も多く、近隣の巨大消費地へ向けた近郊農業が中心となっている | 3. 総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている | 4. 総産出額の半分以上を米が占めており、畜産の割合は極めて低い |
|--|--|---|----------------------------------|
- 問2 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。 | 2. 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。 | 3. 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。 | 4. 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。 |
|---|---|--|--|
- 問3 北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため | 2. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利のため | 3. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため | 4. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問4 九州地方の農業と人口に関する統計において、人口密度が1024.1人/km²と1000人を超えて非常に高い県と、豚の産出額が723億円に達し畜産業が盛んな県の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県 | 2. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：大分県 | 3. 人口密度の高い県：沖縄県、豚の産出額が多い県：熊本県 | 4. 人口密度の高い県：熊本県、豚の産出額が多い県：鹿児島県 |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
- 問5 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。 | 2. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。 | 3. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができているため、九州地方の全県が収穫量で全国トップ10に入っている。 | 4. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。 |
|---|---|--|---|
- 問6 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。 | 2. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。 | 3. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。 | 4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。 |
|--|---|--|--|
- 問7 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でののり養殖が産業の中心となっている。 | 2. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。 | 3. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。 | 4. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。 |
|--|---|--|---|
- 問8 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。 | 2. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。 | 3. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。 | 4. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。 |
|--|--|--|--|
- 問9 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|---------|----------|
| 1. 砂丘 | 2. 扇状地 | 3. カルデラ | 4. シラス台地 |
|-------|--------|---------|----------|
- 問10 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。 | 2. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。 | 3. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。 | 4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。 |
|---|---|---|---|
- 問11 沖縄県に見られる伝統的な家屋の特徴について、その構造と目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 床を非常に高く作る高床倉庫の仕組みを取り入れ、風通しを良くして湿気を防いでいる。 | 2. 屋根を急傾斜の茅葺きにし、冬の厳しい積雪の重みに耐えられるようにしている。 | 3. 外壁を厚い土壁にし、窓を小さくすることで、冬の寒冷な空気が室内に入るのを防いでいる。 | 4. 屋根の瓦を漆喰で固め、周囲を石垣で囲むことで、台風の強風から家屋を守っている。 |
|---|--|---|--|
- 問12 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km²である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 大分県 | 2. 宮崎県 | 3. 鹿児島県 | 4. 福岡県 |
|--------|--------|---------|--------|

- 問1 九州地方の中西部に位置し、東は宮崎県と大分県、北は福岡県、南は鹿児島県に隣接する県があります。この県の南西端に位置する沿岸部の都市で発生した、四大公害病の一つに数えられる公害病の名称と、その舞台となった都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 四日市ぜんそく ― 三重県 2. 新潟水俣病 ― 新潟県 3. イタイイタイ病 ― 富山県 4. 水俣病 ― 熊本県
- 問2 宮崎市が位置する太平洋沿岸南部の地域で、冬でも温暖な気候となり、かつ夏から秋にかけて降水量が非常に多くなる主な要因の組み合わせとして、正しいものはどれですか。
(2023年 福井県公立入試 類似)
1. 内陸の盆地による影響と、一年を通じて安定した高気圧の影響 2. 寒流である親潮の影響と、北西から吹く季節風の影響 3. 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響 4. 対馬海流の影響と、日本海側特有の冬の季節風の影響
- 問3 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。
(2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に向向きであったため。 2. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。 3. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。 4. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
- 問4 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。
(2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。 2. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工しやすい畜産物の生産に力を入れた。 3. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。 4. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県では、火山噴出物が堆積して形成されたシラス台地が広く分布しています。この土地の「水はけが良すぎる」という性質を背景として、古くから稲作が制限されてきた代わりに発達した、鹿児島県の農業産出額の半分以上を占める主要な農業部門は何ですか。
(2024年 山口県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を活かした果樹栽培 2. 近郊農業による野菜栽培 3. 広大な土地を利用した畜産 4. 豊富な地下水を利用した稲作
- 問6 1970年代の大分県において、県内での雇用を増加させ、大都市圏への人口流出を抑える要因となった政府による都市開発の指定制度を何と称しますか。
(2020年 大分県公立入試 類似)
1. 情報公開特区 2. 学術研究都市 3. 高度経済成長拠点 4. 新産業都市
- 問7 九州南部の鹿児島県では、山地が約70.6パーセントを占める一方で、台地の割合も約20.8パーセントと全国平均に比べて非常に高い特徴があります。この広大な台地が形成された背景として最も適切な説明を選びなさい。
(2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 過去の火山活動によって噴出された火山灰や火砕流などの堆積物が厚く積み重なったため 2. 河川が山間部から平野部へ出る際に、運んできた土砂を扇状に堆積させたため 3. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出し、山体の中央部が大きく陥没して窪地となったため 4. 海岸近くにおいて、風によって運ばれた砂が長い年月をかけて堆積し、丘状の地形を作ったため
- 問8 九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。
(2020年 広島県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. シラス台地 3. 扇状地 4. 三角州
- 問9 那覇市などの地方中心都市において、夜間の常住人口よりも昼間の人口の方が多くなる現象が見られます。ある統計によると、那覇市の夜間人口は約31.9万人ですが、昼間人口は約35.0万人に達しており、昼夜間人口比率が100%を大きく上回っています。このような現象が起こる主な要因として最も適切な説明を選んでください。
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 周辺の市町村から、仕事や学びのために多くの人々が通勤・通学してくるため 2. 県外や海外から訪れる多くの観光客が、日中に市内の観光スポットに滞在するため 3. 中心部での地価高騰を避けるため、夜間だけ市外の宿泊施設を利用する人が多いため 4. 出生率が高く、年少人口の割合が他の市町村に比べて著しく高いため
- 問10 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. マンゴー 2. パイナップル 3. スイカ 4. 紅芋
- 問11 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。
(2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. バナナ 2. マングローブ 3. サンゴ礁 4. なつめやし
- 問12 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。
(2017年 京都府公立入試 類似)
1. さけ 2. かつお 3. まだい 4. ほたてがい
- 問13 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること 2. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること 3. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること 4. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること

- 問1 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 大分県 2. 鹿児島県 3. 宮崎県 4. 福岡県
- 問2 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 大分県 3. 福岡県 4. 宮崎県
- 問3 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
2. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
3. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
4. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
- 問4 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 抑制栽培 2. 近郊農業 3. 有機農業 4. 促成栽培
- 問5 九州地方南部の鹿児島県や宮崎県では、火山噴出物が積み重なってできたシラス台地が広く分布しています。この地域で、稲作ではなく豚や肉用牛などの飼育を行う畜産業が盛んになった理由として、地形の性質に触れた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しくなったため
2. 平坦な土地がほとんど存在せず、家畜を放牧するスペースしか確保できなかったため
3. 急峻な傾斜地が多く、機械を導入した大規模な耕作が困難であったため
4. 標高が極めて高く、夏季の気温が上昇しないため稲の生育に適さなかったため
- 問6 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
2. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。
3. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。
4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問7 鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 畜産 2. 野菜 3. 米 4. 果実
- 問8 沖縄県の竹富町などに見られる伝統的な家屋では、家の周囲を石垣で囲み、防風林を植え、さらに屋根瓦をしっくいで固めるといった工夫が見られます。このような独自の住居様式が発達した理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 近隣の火山が噴火した際に、降り積もる火山灰の重みに耐えるため
2. 冬に吹く冷たくて強い季節風を遮り、屋内の温度を一定に保つため
3. 夏から秋にかけて接近・上陸する台風による強風の被害を防ぐため
4. 地震が発生した際に、振動による建物の倒壊や屋根瓦の崩落を防ぐため
- 問9 大分県で見られる火山の性質を利用した産業について、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積したシラス台地の地形を活かして、大規模なダムを建設し水力発電を行っている。
2. 阿蘇山周辺のカルデラから湧き出る豊富な水を利用して、大規模な水力発電を主な電力源としている。
3. 由布院などの温泉街において、火山ガスの成分を化学工業の原料として抽出する産業が最も盛んである。
4. 別府などの豊かな温泉資源を観光に活用するとともに、地下の熱エネルギーを地熱発電に役立てている。
- 問10 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 鹿児島県 3. 愛媛県 4. 青森県
- 問11 宮崎県では、温暖な気候を利用したピーマンやきゅうりなどの園芸農業が盛んです。これらの作物の収穫時期を、他の地域よりも早めるなどの工夫を行う主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 夏の強い日差しを好む熱帯性の害虫が大量発生する前に、収穫を終えるため。
2. 冬に降る大量の雪が農作物の成長を妨げるのを防ぎ、春の間にすべて収穫するため。
3. 夏から秋にかけて発生しやすい台風の被害を最小限に抑え、安定した出荷を行うため。
4. 輸入農産物が最も安くなる時期に合わせ、価格競争で有利に立つため。
- 問12 九州地方北部の福岡県から佐賀県にかけて広がり、有明海に面している広大な平野があります。この平野は九州最大の稲作地帯として知られていますが、その名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 仙台平野 2. 宮崎平野 3. 熊本平野 4. 筑紫平野
- 問13 九州地方の農業について述べた文のうち、筑紫平野で見られる農業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 阿蘇山周辺の広大な草原や斜面を利用して、肉用牛の放牧や酪農が行われている。
2. 温暖な気候を利用し、宮崎平野を中心にピーマンやきゅうりの促成栽培が行われている。
3. シラス台地特有の水はけの良さを活かして、サツマイモや茶の栽培、畜産が盛んに行われている。
4. 広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
 2. 平野部が广大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
 3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
 4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問2 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んですが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
 2. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
 3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
 4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
- 問3 沖縄の自然環境に関するレポートにおいて、海岸沿いに生息する樹木の特徴として「潮の満ち引きの影響を受ける場所に発達し、島を波の衝撃から守る役割がある」と説明される植物群があります。この植物群が持つ生態系や防災上の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している
 2. 落葉広葉樹の集まりであり、季節による海水の温度変化を調節している
 3. 砂漠地帯に自生する植物であり、海岸の砂の移動を防ぐ役割がある
 4. 針葉樹の集まりであり、強い潮風を受けても折れにくい性質を持っている
- 問4 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 大分県
 3. 沖縄県
 4. 佐賀県
- 問5 日本の諸地域について述べた統計資料において、九州地方に位置し、航空路線の国内線旅客数が約990万人と非常に多く、さらに鉄鋼業の出荷額も高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 福岡県
 3. 宮城県
 4. 北海道
- 問6 九州地方を扱った地理の学習において、大分県の特徴をまとめた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。
 2. 九州地方の南東部に位置し、温暖な気候を利用したピーマンやキュウリの促成栽培が行われている。
 3. 九州地方の北部に位置し、北九州工業地帯を中心とした重化学工業が県の経済を支えている。
 4. 九州地方の中央部に位置し、阿蘇山のカルデラや広大な農業地帯での畑作が盛んである。
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため
 2. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。
 3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。
 4. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。
- 問9 日本の南西部に位置する沖縄県の行政の中心地であり、県庁所在地となっている都市を選択肢から選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 浜松市
 2. 松本市
 3. 弘前市
 4. 那覇市
- 問10 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 熊本県
 3. 長崎県
 4. 鹿児島県
- 問11 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。
 2. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。
 3. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でののり養殖が産業の中心となっている。
 4. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。
- 問12 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。
 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。
 3. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。
 4. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。
- 問13 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 壱岐・日本海海流
 2. 壱岐・対馬海流
 3. 対馬・リマン海流
 4. 対馬・対馬海流

- 問1 安価な外国産牛肉の輸入量が増加し、国際的な製品との競争が激しくなる中で、宮崎県の畜産農家が進めている取り組みとして適切な説明はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大規模な機械化によって生産コストを輸入牛肉よりも低く抑え、価格の安さで勝負する。 | 2. 牛肉の生産を段階的に縮小し、すべての農地を輸入の影響を受けにくいサトウキビ栽培に転換する。 | 3. 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。 | 4. 海外の安い飼料を使わず、国内産の高級な牧草のみを使用することで、販売価格を輸入品の10倍以上に設定する。 |
|---|--|--|---|
- 問2 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。 | 2. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。 | 3. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 | 4. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。 |
|---|---|---|--|
- 問3 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 熊本県 | 2. 鹿児島県 | 3. 宮崎県 | 4. 長崎県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問4 日本列島周辺の海底地形のうち、九州地方の西側にある東シナ海の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸から続く水深200m程度までの平坦な海底が広がっており、好漁場となっている。 | 2. 海岸沿いに砂が堆積してできた砂州が発達し、巨大なラグーンを形成している。 | 3. 水深6000mを超える細長い溝状の地形が続き、プレートの沈み込み帯となっている。 | 4. 周囲を急峻な斜面に囲まれた、非常に深い盆地状の地形が中心となっている。 |
|---|---|---|--|
- 問5 日本国内のアメリカ軍専用施設面積の約70%が沖縄県に集中している現状に関連して、その背景や課題に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. サンフランシスコ平和条約の発効と同時にすべての基地が本土へ移転したため、現在は沖縄県の負担は解消されている。 | 2. 1972年の本土復帰後も多くの施設が維持され、騒音や事故、跡地利用の制約などが住民生活に影響を与えている。 | 3. 沖縄県の面積は日本全体の約10%を占めているため、面積比で見れば基地の割合は他県と同水準である。 | 4. アメリカ軍基地のほとんどは人が住んでいない離島に設置されているため、都市開発への影響は限定的である。 |
|---|--|---|---|
- 問6 九州地方南部に位置する鹿児島県の大隅半島などには、「シラス台地」と呼ばれる火山灰が厚く堆積した地形が広がっています。この地域で肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. シラス台地は標高が高く一年中冷涼な気候であるため、暑さに弱い肉用牛の飼育に適した環境であった。 | 2. 火山灰に含まれる特殊な鉱物資源が家畜の飼料として最適であり、周辺の県からも家畜が集まるようになった。 | 3. シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。 | 4. 広大な台地をすべて森林にする計画があったが、火山ガスの影響で樹木が育たず、やむを得ず畜産に転換した。 |
|--|---|--|---|
- 問7 九州地方南部に広がるシラス台地のような地形で、標高が高い平坦な面が主に「畑」として利用される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 標高が高い場所は平地よりも日照時間が短く、水田よりも畑作の方が収穫が安定するから | 2. 標高が高い場所は気温が低く、稲の生育に適さないため、寒さに強い作物を育てる必要があるから。 | 3. 台地の上は地盤が非常に軟弱であり、水田を作ると地盤沈下を引き起こす恐れがあるから。 | 4. 火山灰が降り積もった地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難だから。 |
|---|--|--|--|
- 問8 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 奄美大島 | 2. 種子島 | 3. 屋久島 | 4. 壱岐島 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 金沢市 | 2. 大阪市 | 3. 宮崎市 | 4. 札幌市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 甲府盆地 | 2. 筑紫平野 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|---------|---------|----------|---------|
- 問11 九州南部の鹿児島県などに広がる火山灰層からなる台地において、古くから水田稲作があまり行われず、サツマイモや飼料用トウモロコシなどの畑作、および畜産業が発展した理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 火山灰に含まれる栄養分が多すぎるため、稲が成長しすぎて倒伏してしまうため。 | 2. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているため。 | 3. 土壌が非常に硬い岩盤状になっており、農作物の根が深く張ることができないため。 | 4. 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。 |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問12 九州地方の地理的環境とエネルギー産業について述べた次の文のうち、大分県の特徴について背景を含めて説明したものとして、正しいものはどれか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 筑後川の下流域に広がる平野の地質を活かして、地熱発電よりも米の二毛作や麦の生産を優先して行っている。 | 2. 阿蘇山などの火山帯に近い地理的条件を背景に、地下の蒸気を利用した地熱発電が発達し、全国有数の発電量を誇っている。 | 3. リアス海岸が続く複雑な海岸線を活かして、大規模な風力発電所を建設し、製造品出荷額の大部分をエネルギー産業が占めている。 | 4. 南九州に位置する地理的条件から、地熱発電よりも日照時間の長さを活かした太陽光発電が産業の中心となっている。 |
|---|---|--|--|